

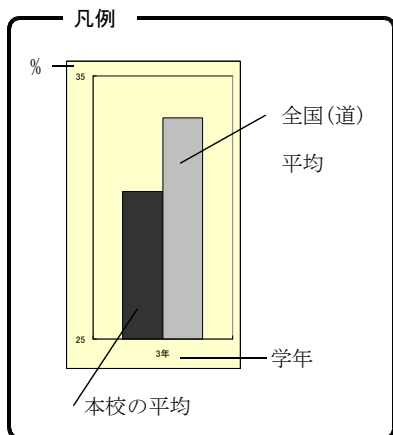
平成23年度 全国学力・学習状況調査問題を活用した学力調査の結果について

苫小牧市立青翔中学校

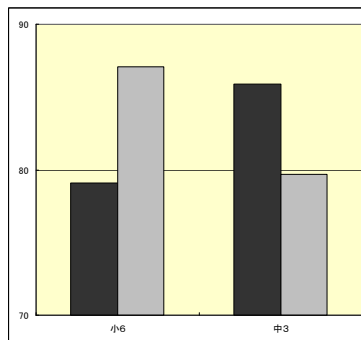
全国学力・学習状況調査は平成19年度から実施しており、今年で5年目となります。

青翔中学校は拓勇小学校の児童が100%入学することから、開校時より3年間小学校における学習や生活面の達成状況を比較検討してきました。本資料にある生活習慣に関するデータは本校中学3年生が拓勇小学校6年時のときのデータと平成23年9月に実施したデータを比較した分析結果です。

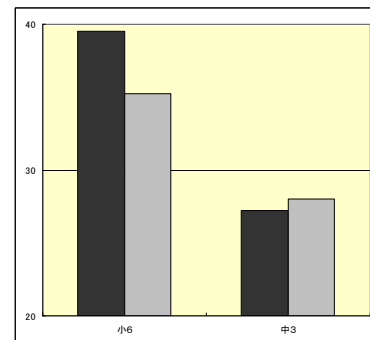
基本的生活習慣



●毎日、朝食を食べている。



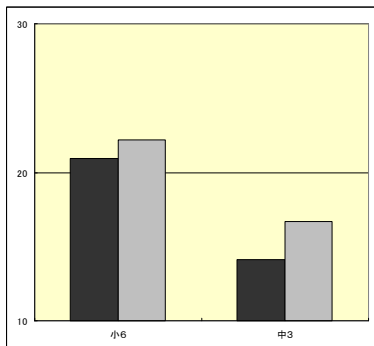
●毎日同じ時刻に寝ている。



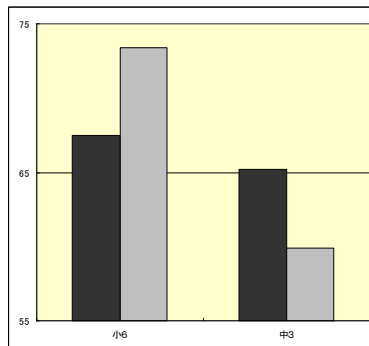
(分析) 本校の3年生は学年が進むにつれ、生活習慣を自己管理できない状況が伺えます。自立して生活できるために、「早寝・早起き・朝ご飯」等、生活改善の意識化ができるようご家庭でもご指導ください。

自己肯定感

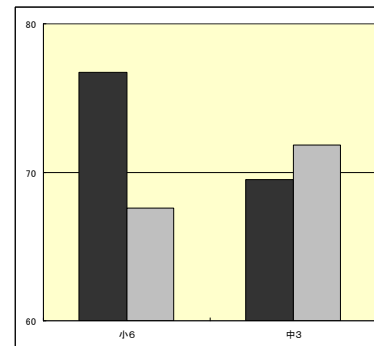
●失敗を恐れず挑戦する。



●自分には良いところがある



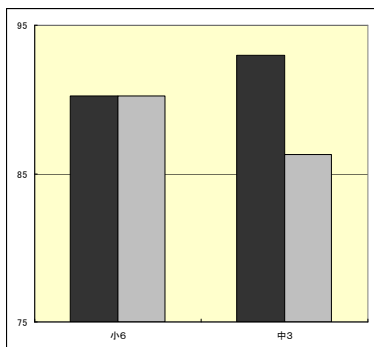
●将来に夢や目標がある



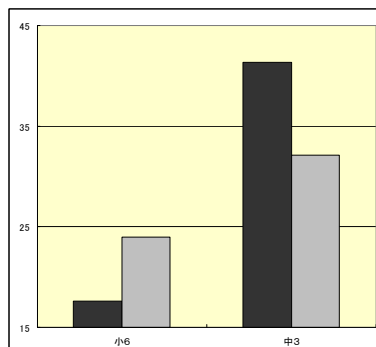
(分析) 失敗を恐れずチャレンジする気持ちに乏しく自分に自信が持てない傾向は、本校の生徒の特徴的な傾向です。将来の夢や希望については学年が進むにつれ失われ、目標を持った生活が出来なくなる傾向も伺えます。高校進学だけではなく将来を見通した進路指導を行うために、1年時からの系統的な進路学習と体験的に学ぶ機会を作る活動を実施していきます。

道徳的価値観・家庭生活（携帯電話）

●学校のきまりを守っている



●携帯電話で通話やメールをする。



(分析)

倫理観が高く、学校の規則を守って生活することが出来ていた小6年時の傾向が更に強く表れています。全道平均と比べても、中3としては落ち着いた生活が出来ている状況が伺えます。

携帯電話の所持率は、3年間で3~4倍に増加している傾向です。携帯電話を持たせる場合保護者が管理できるようにフィルタリングをかけるなど、子どもに約束を守らせる保護者の姿勢が重要です。学校では携帯安全教室や非行防止教室を行うなど、警察やN T Tなど外部講師を招いた授業を今後も実施していきます。

▼ 教科（国語・数学）に関する領域別の調査結果から

本校の国語・数学における平均正答率は全道や全市よりも高い位置にあります。

下のグラフは、全道平均と比べてどの項目が出来ていて、どの項目に課題があるかを分析したグラフです。残念ながらA・Bのそれぞれの問題の難易度が異なっており、単純に比較できませんが、全道の平均正答率を超える領域がプラスの数値となって表れています。

本校の3年生は、国語・数学ともに全道平均を上まわっていますが、国語や数学の活用力を身に付けさせることが課題です。

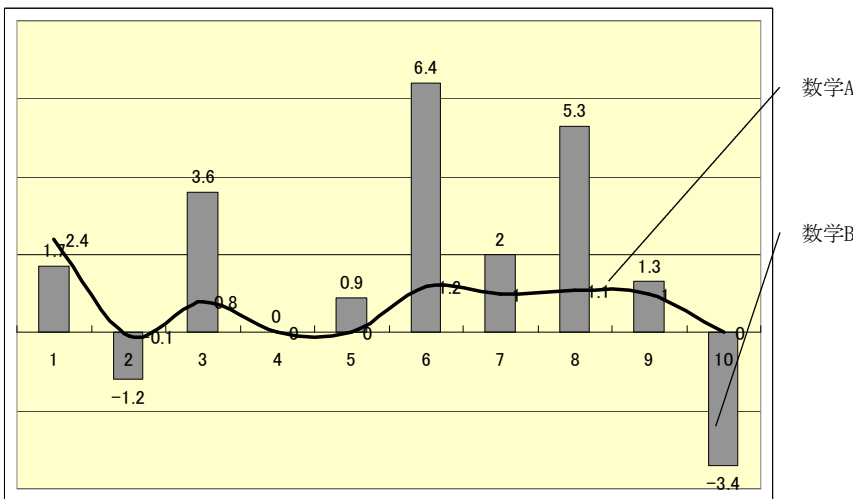
また、学力の2極化も心配されます。基礎力が未定着な学力層と上位層が分かれる傾向が伺え、数学科に顕著に表れています。

本校の生徒は家庭学習の習慣化や学習意欲等の点で努力が必要です。ご家庭でも学習時間をきめて勉強したり、一緒に勉強する時間を作る家庭での取組も欠かせません。学校では、学力向上に向けたわかる授業の工夫を行うとともに、放課後学習や長期休業中の補習を行っています。学習習慣の確立のために生活ノートの記入もさせていますので、時々目を通して下さい。

数学科設問別調査結果

----- 3学年の設問別調査結果から見た分類区分別の課題

1. 数と式 2. 図形 3. 数量関係 4. 数学への意欲・関心・態度 5. 数学的な見方や考え方 6. 数学的な表現・処理
7. 数量・図形などについての知識・理解 8. 選択式 9. 短答式 10. 記述式



(分析)

数量関係や数学的な表現処理については良い数値ですが、図形に関する理解に課題があります。

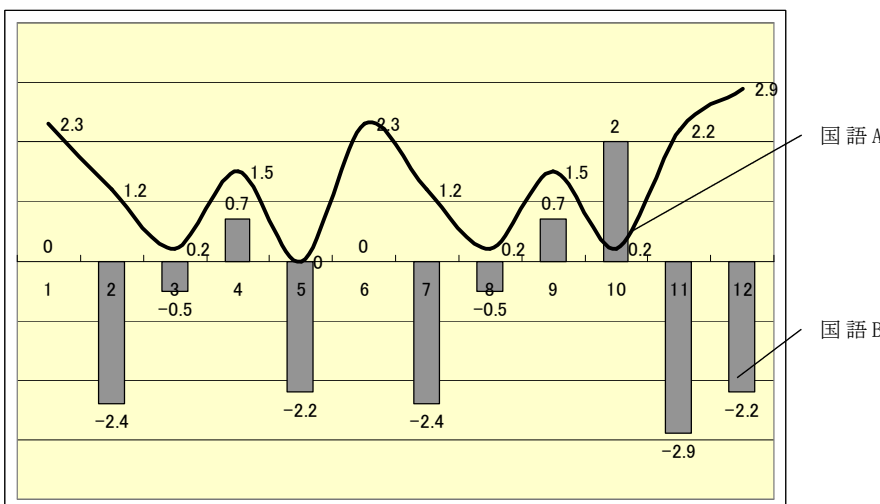
選択式など直感にたよる問題はできていますが、論理的に考える記述問題を苦手としています。

基礎的基本的な学力を高める取り組みと学習の遅れが目立つ生徒の意欲を高めるとともに、論理的な思考力を高める学習を継続する必要があります。

国語科設問別調査結果

----- 3学年の設問別調査結果から見た分類区分別の課題

1. 話すこと・聞くこと 2. 書くこと 3. 読むこと 4. 言語事項 5. 国語への関心・意欲・態度 6. 話す・聞く能力 7. 書く能力
8. 読む能力 9. 言語についての知識・理解・技能 10. 選択式 11. 短答式 12. 記述式



(分析)

基礎的なA問題についてはほとんどの領域で良い数値ですが、活用力を問うB問題に課題があります。

書くことや話す・聞く能力についても、基礎的な学力は高い数値を示しています。ただ、応用するB問題になると同じ領域でも低い数値になります。短答式や選択式の問題にはよく取り組めるようですが、内容を理解してまとめるなど記述式の問題に課題があります。

物語を読み解くなど読解力をつける学習を行うとともに、読み、書く学習を積極的に行う必要があります。